

恐ろしいフィラリア症から

愛するペットを守りましょう!!



すっかり気候も暖かくなって、外を散歩するのも楽しい季節になってきましたね。でも気をつけたいのは、春先から蚊がたくさん出てくるとのこと。犬や猫が蚊に刺されると、フィラリア症という怖い病気にかかってしまう危険性があるからです。

(提供 )

フィラリア症とは、蚊に刺されることで体内にイヌフィラリア(犬糸状虫)という寄生虫が入り込んで、心臓や肺などの内臓に障害を引き起こす病気で、もちろん猫にも寄生します。発症すると「乾いた咳が出る」「食欲がない」といった症状が出始めて、最後には命を落としてしまうこともありま



す。恐いのは、フィラリアに感染してから何年もたってから症状が出てくる場合も多く、ひどい症状が出た頃にはもう手遅れ・・・なんてことも?!

でも大丈夫!! そんな怖いフィラリア症ですが、発症する前にきちんと予防しておけば問題ありません。フィラリア症の予防には、注射やスポット(首や背中に液体の予防薬をつける)などの方法もあります。が、飲み薬が最も一般的。薬を毎月一回飲ませることで、体内に侵入したフィラリアの幼虫を駆除できるのです。今、フィラリアに感染していたとしても、フィラリアの幼虫が成長して心臓や肺にたどりつく前にやっつけ

ることができるので、心配ありません。ただ、毎日薬を飲むわけではないので、「つい薬を飲ませ忘れてしまう」という飼い主さんもいらっしゃるようです。なので、カレンダーや手帳に毎月のお薬の日をマークしておくなど、忘れないように心掛けましょう(最近では、メールで投薬日を知らせてくれるサービスもあるそうです)。ちなみに、薬を飲ませる期間は5月〜11月頃が多いようですが、地域によって少しずつ異なりますので、まずは獣医さんに相談してみましょう。

動物病院では、フィラリア予防薬の処方の前に、フィラリアの感染を調べるための血液検査をしてくれますが、ここで他の病気も同時にチェックすることができきますよ。愛するわんちゃん、ねこちゃんの健康を守るためにも、ぜひこの機会に動物病院に来院してみてもいいのでは?





わんにゃブルな健康最前線



わんちゃん、ねこちゃんの健康について、獣医さんから専門的にお話しいたします!



京都中央動物病院
獣医師
かすかべみほ
春日部 美穂 先生

「予防接種と健康診断について」

春になると動物病院や保健センターからフィラリア予防や狂犬病予防接種の案内が届くことかと思ひます。今回は予防と健康診断についてお話しいたします。

予防が大事なのはきつとご存じですよね。犬は代表的なものとして、混合ワクチン、狂犬病予防接種、ノミやマダニの外部寄生虫対策、フィラリア予防でしょう。猫は混合ワクチン、外部寄生虫対策の他、最近では犬同様フィラリア予防もおすすしめします。近年これらの予防方法にはたくさん種類がでましたので、是非動物病院にご相談頂き、我が子にあった方法を見つけて予防して頂きたいです。その他当院では歯みがきも予防の1つと位置づけています。犬でも猫でも3歳以上の80%で歯周病にかかっているという統計があるのです。歯周

病菌は全身へ波及し様々な疾患を引き起こしますので、歯周病予防=歯みがきは大切です。

さて予防のために動物病院にかかられることがあると思ひますが、その際、健康診断についてぜひ獣医師に聞いてみて下さい。若くて元気食欲があり外見上は問題なさそうに見えても、遺伝や品種によって早期に始まる病気があるのです。猫は腎臓病、犬は心臓弁膜症や様々なガンが多く発生します。せつかく動物病院に行くのですから、眼、心臓、内臓、関節など一通りのチェックをしてもらいましょう。また動物病院によっては健康診断セットやわんにゃんドッグをやっておられる所もあります。老齢はもちろん若齢でも一度受けてみてはどうでしょうか?何事もなければ安心ですし、今後の健康管理に貴重なデータとして利用できます。また何かあれば早期発見・早期治療のきっかけになりますよね。かわいい我が子の体がポロポロになる前に、治療が短期間で済むように、トータルコストが少なく済むように、健康診断の受診を考えてみて下さい。

歯みがきも大切な



〈お問い合わせ〉
京都中央動物病院

電話・FAX

075-821-1020

京都市下京区
柿本町582-3